

つながり

一階堂行邦 *nikaido yukiwami*

人間とは関係存在である。自と他のつながりを生きるものである。ところがいま親子・家族のつながりがすぐ殺しによって崩壊するという凍てつく状況が次々と起こっている。また人間とは、独り生れ独り死する存在である。この独生独死に堪え切れず、いつもどこかで、他とつながっていないと不安である。だから、安易にケータイでつながろうとする。しかし、本質的な孤独の闇を消すことはできない。

人間は、本当のつながりを心の奥底で希求しながら、その道がわからないでさ迷うのである。本当のつながりが断たれると、自分の中に閉塞してしまう。未来に光を見失い、心よりもっと深い魂と呼ばれるような主體的な精神のはたらきが闇となってしまう。

—— 仏典には「身愚に神闇く、心塞り意閉ず」とある(『真宗聖典 仏説無量寿経』巻下六一頁)。

科学・技術・経済の急激な発展は、人間に驚くべき繁栄をもたらした。しかしこの繁栄のただ中で、自分だけの思いに閉塞し、底知れない孤独の闇を生きざるを得なくなった。

この闇は、単なる社会環境の改善や心理療

法だけでは解決できない人間の根源的のちに関わる問題である。人間の闇を破るというテーマは、元来宗教が何千年もかけて探究してきた課題である。だから人間崩壊のなかで真のつながりを回復する道は、宗教的真実と深く関わることである。

ところが、その宗教自体も現代の闇のなかに飲み込まれてしまう危機にさらされているのではないか。あるいは、宗教的真理への執われが、宗教以外の他の分野とのつながりを自ら切断し、自己閉塞に陥っているとさえ

いま、教育・科学・医療・経済・思想・宗教等に至る分野の最先端で活動されている方々の中にも、自分の専門分野の課題と「人間であることの原点」とのつながりに疑問を感じ、それを担って苦闘されておられる方も多いことであろう。そのような専門家の方とわれわれ宗教者との交流がぜひほしい。

この *anjalii* (合掌) という小誌は、それぞれの人間・組織・思想・世界・時代を生きるものが、お互いをつなぐ意味を問い直し、そして「合掌」し合えるような新たな「出会い」の場として創刊されたものである。真宗大谷派という宗門にとどまらず、ご縁を頂く人々のご協力を仰ぎ、この小誌が二一世紀の人間の指標となることを念じてやまない。

(にかいどう ゆきくに・真宗大谷派専福寺前住職)

お知らせ

●『アンジャリ』は、年2回の発行を予定しています。本誌ご希望の方は、左記まで電話・FAX・Eメール等でご連絡ください。

●また、編集室では『アンジャリ』をお読みになった皆様からのご感想、ご意見などを心よりお待ちしております。

『アンジャリ』創刊号

2001年4月15日発行

編集 首都圏学事構想企画推進会議

発行者 木越 樹

発行所 真宗大谷派宗務所企画室

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

TEL. 075-371-9208 FAX. 075-371-9203

e-mail kikaku@tomo-net.or.jp

印刷・製本 中日本印刷株式会社

デザイン 蟹江征治